Cyprus Sunshine Cup 2014（Afxentia 4stage race）レースレポート

BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM　斉藤 亮

大会名：Cyprus Sunshine Cup 2014　第 1 戦（Afxentia 4stage race）
期日：2014 年 2 月 27 日（木）、28（金）、3 月 1 日（土）、2 日（日）
会場：キプロス / Lefkara / Macheras Mountains
天気/気温：晴/曇・21℃
競技種目：男子エリート
参加数：112 名
Web：http://www.cyclingcy.com/index.php

・・

【第 1 ステージ 5.6km TT】57 位

サンシャインカップ 2014 の幕開けとなる 5.6km のタイムトライアル。各選手 1 分置きにシングルスタートを行い全力でタイムアタック。Lefkara の町中をスタートし路地裏や古民家などを通り抜けオフロード区間へ。コースはバリエーション豊富でアップダウンも激しくパワーとテクニック、そしてスキルが必要とされる難コース。オーバーペース覚悟で前半から攻め続ける。案の定、終盤は乳酸と筋疲労で若干ペースダウン・・・。限界ギリギリまでもがき続け初日のタイムトライアルは 57 位でのフィニッシュとなった。

【第 2 ステージ 50.6km XCP】106 位

初日の TT を 57 位で終え、2 日目のステージは約 50km のクロスカントリーポイント。大きな山岳 1 つと小さな山岳 1 つのワンウェイコース。高低差やコースプロフィールを見る限り 2 時間 10～15 分程度のレースになるだろうと予測が付く。スタート位置は 4 列目の真ん中あたり。約 3km のパレード走行後にリアルスタート。100 人を超す大集団では位置取りが激しく落車の危険性も非常に高い。注意しながらもあいているスペースを見逃さず前へ前へと少しでもポジションを上げていく。世界のトップライダー率いる先頭集団では牽制することなどは全くないので超ハイペース。中切れを起こす選手もいてあっという間に 1 列棒状になり集団が分裂していく・・・いくつかに分かれる小集団のパックで落ち着きレースを展開。順位的には 20 位前後と悪くない。むしろ足並みが揃っているセカンドパックはペースも安定していて走りやすい。要所要所で非常に苦しい場面が訪れるが、大きな山岳を小集団のパック最後尾でクリア出来た。ここからいよいよダウンヒル区間へ。事前に試走が出来なかった影響もあり、下りでは果敢に攻めることが出来ない。パックから離されてはいけないという焦りからロックセクションでラインを外してしまい痛恨のパンク・・・。溜め息と共に集団は消えていく。その場でパンク修理をするか、下り切るまでパンク状態で走るか・・・。怒りと悔しさで耐え難い苦痛。フィードには帯同スタッフがいないためホイールの交換は出来ない。そのまま約 7km を下り終えパンク修理開始。後

続から来る選手にどんどん抜かされていく。苛立ちを抑え、冷静に修理をしてリスタート。追い上げる気力も失い 106 位でのフィニッシュ。この時点で総合成績からは完全に脱落してしまった。

【第 3 ステージ 39.8km XCP】67 位

昨日の第 2 ステージに引き続き、第 3 ステージもクロスカントリーポイント。総合順位を一気に落としてしまったのでスタート位置はほぼ最後尾スタート。ある意味開き直ってレースを迎えることが出来た。いつもでも悔しがっても仕方がない。このステージでは思いっ切り楽しもうと思えた。大自然の中のダイナミックな景色、極上のシングルトラックが続くワンウェイコースはレースを走っていても興奮するくらい楽しい。ステージ 30 位以内を目標に最後尾から追い上げていく。しかしコース幅が狭いタイトなコーナーでは大渋滞が発生してしまうことが多く立ち往生。少しでも前方に位置取りたいのは皆一緒。先頭集団はスタートからかなりのハイペースでレースが展開されているため、遥か彼方へ・・・。オーバーペース気味なのは覚悟の上で前の小集団を追い掛けるが中々差は縮まらない。アップダウンが連続するジープ道では一気に乳酸が溜まってしまいズルズルと後退・・・明らかに乳酸が処理出来ておらず調子が良くない・・・。少しペースを落として様子を見るが、呼吸は苦しくないのに脚が重く身体に力が入らない。気持ちとは裏腹に我慢のレースを強いられてしまう。トラブルさえなかったが、このステージは登りも下りも精彩を欠き 67 位でのフィニッシュとなった。

【第 4 ステージ 5.6km×6 周 XCO】58 位

最終日の第 4 ステージはクロスカントリー。ここまでの総合成績の順位でスタート位置が決まる。このステージは最後尾から 2 列目のスタート。クロスカントリーレースではスタートが肝心。だからこそ集中力を高め、スタートダッシュに全神経を集中させる。笛の合図と共に良い反応でスタートダッシュ。スタートしてすぐのヘアピンカーブでやはり渋滞発生・・・バイクを降りることなく回避することが出来たが、スタートからポジションを上げていくのは厳しい。シングルトラックやジーブロードでも 1 列棒状になる区間が多く、中切れを起こす選手もチラホラ。ストップ＆ゴーを繰り返しながら、ひらすら追い込み前の集団を追い掛ける。少しのミスやスペースがあれば前の選手をパスしていき、逆にミスをすれば大きく順位を落とす・・・。やはり日本ではありえないような強引さ、判断力や決断力が必要であり、遠慮なんかしていたらレースにならないことを肌で感じる。牽制などせず積極的な走りを心掛けプッシュし続ける。ラスト 2 周でやっと身体が動き始めギアを上げてペースアップ。ペースダウンしてくる選手を抜き去り 58 位でのフィニッシュ。総合順位は位で全ステージを終えた。このレースへ対する思いが強かっただけに、不完全燃焼に終わった気持ちを消化出来ない自分がいる。走れなかった原因はなんだろう・・・そればかりを考えていた。疲労か？エネルギー不足か？色々なことを考えてもすぐに結論は出てこない。世界との差を埋めるにはどうしたらいいのか・・・選手だけでなく、チームとしても真剣に考える必要がある。また気持ちを新たに今後の課題と目標を定めていかなくてはならない。今週末はサンシャインカップ第 2 戦、Voroklini (C1)クロスカントリーレース。しっかりと疲労回復に専念して、気持ちを切り替えて挑みたい。

【使用機材】

バイク：ANCHOR / XR9
コンポーネンツ：SHIMANO / XTR FC-M985
ホイール：SHIMANO / XT WH-M785
シューズ：SHIMANO / SH-XC90
ペダル：SHIMANO / PD-M980
ハンドル：SHIMANO PRO / XCR
ステム：SHIMANO PRO / XCR
シートポスト：SHIMANO PRO / XCR
フロントフォーク：SR SUNTOUR / AXON-WERX-RC-RL-RC AH CTS 27.5/100MM
タイヤ：BRIGESTONE / EXTENZA XC (27.5×2.1)
サドル：Prologo / X ゼロ TiroX
ヘルメット：KOOFU / WG-1
サングラス：adidas eye wear / evil eye halfrim pro / クリスタル S グラデーション

ケミカル：HOLMENKOL
時計メーター：SUUNTO / AMBIT2S
ドリンク：SAVAS（株式会社明治）
サプリメント：SAVAS（株式会社明治）
レースウェア：WAVE ONE
レースグローブ：KABUTO / PRG-3
アンダーウェア：CRAFT
インソール：SUPER feet / Black
アパレルウェア：Columbia
ザック：deuter
テーピング：New-HALE